



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年2月4日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東

コード番号 4512 URL <https://www.wakamoto-pharm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五十嵐 新

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 高野 浩一 TEL 03-3279-0371

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	7,310	25.9	187	—	222	—	215	—
2025年3月期第3四半期	5,806	3.9	△341	—	△297	—	△19	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	6.19	—
2025年3月期第3四半期	△0.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	15,840	12,091	76.3	348.38
2025年3月期	15,002	11,610	77.4	334.53

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 12,091百万円 2025年3月期 11,610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00
2026年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00
2026年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	28.4	200	—	250	—	200	210.4	5.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	34,838,325株	2025年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	132,397株	2025年3月期	132,052株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	34,706,137株	2025年3月期3Q	34,706,546株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における経営成績につきましては、以下のとおりです。

	2025年3月期 第3四半期 累計期間 (百万円)	2026年3月期 第3四半期 累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,806	7,310	1,503	25.9
売上総利益	2,699	3,510	810	30.0
営業利益又は営業損失 (△)	△341	187	529	—
経常利益又は経常損失 (△)	△297	222	519	—
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△19	215	234	—

ヘルスケア事業及びグローバル事業において、店頭プロモーションやデジタル販促等を組み合わせた多面的なアプローチにより「強力わかもと」の販売数量が増加したことや、医薬事業において「マキュエイド眼注用」の供給を再開したこと等により、売上高は73億1千万円と前年同期に比べ15億3百万円増加しました（前年同期比25.9%増）。売上総利益は35億1千万円と前年同期に比べ8億1千万円増加しました（前年同期比30.0%増）。

一方、販売費及び一般管理費は、リニューアルした薬用歯みがき「アバンビーズ」の発売開始に伴う広告宣伝費や、多焦点眼内レンズ「アクリバトリノバ Pro」の発売開始に伴う販売費等が増加したことにより、33億2千2百万円と前年同期に比べ2億8千万円増加しました（前年同期比9.2%増）。

以上の結果、営業利益1億8千7百万円（前年同期比5億2千9百万円増）、経常利益2億2千2百万円（前年同期比5億1千9百万円増）、四半期純利益2億1千5百万円（前年同期比2億3千4百万円増）となりました。

セグメント別の事業概況は、次のとおりであります。

①医薬事業

医薬事業では、医療機関や卸へ医療用医薬品における適正使用の推進と安全性情報の提供及び推進を行い、MRの活動量や卸との連携をより一層強化し、4月より供給を再開した「マキュエイド眼注用」を早期に医療機関にお届けすることや、新規の後発医薬品の上市や既存の後発医薬品、体外診断用医薬品の売上伸長に努めてまいりました。また、医療機器では、4月に「テノン囊下投与針」、6月には多焦点眼内レンズ「アクリバトリノバ Pro」を発売し、医療現場への更なる貢献を目指し取り組んでまいりました。一昨年10月に施行された長期収載品の選定療養の影響もあり、長期収載品の「ジクロード点眼液」等の売上は減少した一方で、後発医薬品の「カルテオロール塩酸塩LA点眼液」、「ヒアルロン酸Na点眼液」、「タフルプロスト点眼液」等の売上が増加しました。その結果、売上高は34億6千4百万円（前年同期比38.2%増）となりました。

②ヘルスケア事業

ヘルスケア事業では、オンライン、オフライン両軸でのお客様接点の強化、広告宣伝と連動した売り場作りを実施してまいりました。4月に「アバンビーズ」において現行品のレギュラーミントを「トータルロコケア」としてリニューアルし、もう一つ新商品として「知覚過敏ケア」を発売しました。また「わかもと整腸薬」のパッケージデザインを一新し、「強力わかもと」とのシナジー効果を高めました。ネットショップにおいても5月に「フェミフローラ 葉酸プラス」、「フェミフローラ 大豆イソフラボン マカ&ギャバ」を発売しました。「強力わかもと」は、動画広告、WEBディスプレイ広告、店舗販促、デジタル販促等を実施し、需要の掘り起こしを行ってまいりました。その結果、売上高は19億1千5百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

③グローバル事業

グローバル事業では、台湾などアジア圏での「強力わかもと」の販売に加え、欧米、アジア、オセアニア、中東におけるライセンスイン・アウトの活動、中国越境ECの拡大、国内外での乳酸菌事業の拡大に努めてまいりました。国内事業は診断薬、点眼液のほか、問題解決型の営業手法による活動を行った乳酸菌事業において売上が増加しました。海外事業は海外向け乳酸菌原料の売上が減少しましたが、中国越境EC上で実施したSNSプロモーションが奏功し、中国越境EC売上が増加しました。その結果、売上高は17億8千9百万円（前年同期比33.4%増）となりました。

④不動産賃貸業

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。売上高は1億4千万円（前年同期比4.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、158億4千万円と前事業年度末に比べ、8億3千7百万円増加しました（前事業年度末比5.5%増）。これは主に、相模大井工場設備の一部増設に伴う1億6千7百万円の支払い、眼内レンズの販売開始に向けて計画的に在庫の積み増しを行ったことによる支払い、並びに配当金の支払い等により現金及び預金が減少した一方で、売掛金、商品及び製品、仕掛品等が増加したことによるものであります。なお、投資有価証券が増加しているのは、時価の影響によるものであります。

一方、負債の部は、37億4千9百万円と前事業年度末に比べ、3億5千6百万円増加しました（前事業年度末比10.5%増）。これは主に、支払手形及び買掛金が減少した一方で、未払消費税等及び繰延税金負債が増加したことによるものであります。

純資産の部は、120億9千1百万円と前事業年度末に比べ、4億8千万円増加しました（前事業年度末比4.1%増）。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の77.4%から76.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の進捗はおおむね順調ですが、引き続き、第4四半期の事業環境は不透明であり、業績に影響を与える要因を合理的に見積もるには時期尚早であると判断しております。したがって、2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月15日に公表しました業績予想を据え置いております。今後、業績予想の修正が必要になった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,954,759	1,670,782
売掛金	2,576,552	3,554,396
商品及び製品	1,963,646	2,192,870
仕掛品	294,315	480,762
原材料及び貯蔵品	791,320	890,001
未収還付法人税等	7,665	-
その他	319,999	228,882
流动資産合計	8,908,257	9,017,697
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,050,466	8,243,939
減価償却累計額	△5,765,265	△5,888,697
建物（純額）	2,285,201	2,355,242
構築物	268,904	268,904
減価償却累計額	△259,376	△261,259
構築物（純額）	9,527	7,645
機械及び装置	8,767,985	8,828,835
減価償却累計額	△8,157,643	△8,250,044
機械及び装置（純額）	610,342	578,790
車両運搬具	38,323	38,883
減価償却累計額	△36,128	△35,597
車両運搬具（純額）	2,194	3,285
工具、器具及び備品	1,086,391	1,122,402
減価償却累計額	△977,442	△996,587
工具、器具及び備品（純額）	108,949	125,814
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	214,205	347,397
有形固定資産合計	3,313,368	3,501,124
無形固定資産		
ソフトウエア	261,831	218,982
ソフトウエア仮勘定	12,204	38,000
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	277,715	260,662
投資その他の資産		
投資有価証券	1,847,919	2,390,556
保険積立金	291,529	291,569
修繕積立金	132,720	151,594
その他	262,603	258,406
貸倒引当金	△31,403	△31,403
投資その他の資産合計	2,503,368	3,060,722
固定資産合計	6,094,451	6,822,509
資産合計	15,002,709	15,840,206

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	940,683	788,962
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	44,997	61,627
未払消費税等	–	126,538
賞与引当金	118,528	193,917
その他	830,564	981,510
流動負債合計	2,034,774	2,252,556
固定負債		
退職給付引当金	988,717	1,001,880
長期預り金	171,350	169,977
繰延税金負債	197,515	324,717
固定負債合計	1,357,582	1,496,575
負債合計	3,392,357	3,749,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	4,671,624	4,782,549
自己株式	△36,497	△36,600
株主資本合計	10,706,840	10,817,662
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	903,511	1,273,412
評価・換算差額等合計	903,511	1,273,412
純資産合計	11,610,351	12,091,074
負債純資産合計	15,002,709	15,840,206

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,806,872	7,310,453
売上原価	3,107,068	3,800,399
売上総利益	2,699,803	3,510,054
販売費及び一般管理費	3,041,367	3,322,225
営業利益又は営業損失 (△)	△341,563	187,829
営業外収益		
受取利息	226	1,597
受取配当金	47,773	48,014
その他	10,506	11,264
営業外収益合計	58,506	60,876
営業外費用		
支払利息	557	745
固定資産除却損	216	704
寄付金	12,893	13,270
為替差損	-	11,204
その他	680	196
営業外費用合計	14,348	26,120
経常利益又は経常損失 (△)	△297,405	222,585
特別利益		
投資有価証券売却益	170,562	-
特別利益合計	170,562	-
特別損失		
固定資産除却損	1,936	-
事務所移転費用	1,314	-
特別損失合計	3,250	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△130,092	222,585
法人税、住民税及び事業税	13,181	50,597
法人税等調整額	△124,153	△43,056
法人税等合計	△110,971	7,541
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△19,121	215,043

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	316,831 千円	328,658千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	医薬事業	ヘルスケア事業	グローバル事業	不動産賃貸業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	2,506,599	1,824,311	1,342,022	133,938	5,806,872	5,806,872	—	5,806,872
計	2,506,599	1,824,311	1,342,022	133,938	5,806,872	5,806,872	—	5,806,872
セグメント利益又は損失(△)	△878,572	308,557	182,205	46,245	△341,563	△341,563	—	△341,563

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

II 当第3四半期累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	医薬事業	ヘルスケア事業	グローバル事業	不動産賃貸業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	3,464,903	1,915,309	1,789,908	140,332	7,310,453	7,310,453	—	7,310,453
計	3,464,903	1,915,309	1,789,908	140,332	7,310,453	7,310,453	—	7,310,453
セグメント利益又は損失(△)	△547,503	279,718	407,273	48,341	187,829	187,829	—	187,829

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。